

キャラクター名  
ラミア

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ウロボロス	ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	
オプション		年齢	不明	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	嫌悪	初期侵食率	39%
出自	天涯孤独	経験	秘密	邂逅	居場所

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	110
肉体	3	1	0			4	行動値	6
感覚	2		0			2	(非装備時)	6
精神	2		0			2	戦闘移動	11
社会	1		0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
濃縮体		ロイス			
亡霊の御印		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス
		不死者	P	N	
		上司	P 信頼	N 恐怖	
		同類達	P 親近感	N 嫌気	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	4	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
異形の刻印	8	+3	常時	至近	自身	-	-	
効果:	HP+[Lv*5(濃縮体で*2)] 侵蝕率+3							
崩れずの群れ	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	カバーリング。1メインプロセス1回							
再生の王錫	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	HP回復エフェクト使用後にHPを「Lv+1」D回復する							
アスクレピオスの杖	1	2	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	HPを[LvD+侵蝕率/10(端数切捨て)]回復							
リミテッドイモータル	1	2	マイナー	-	自身	自動	-	
効果:	HPを「Lv*2」回復							
原初の黒【時の棺】	1	12	オート	視界	-	自動	100%	
効果:	判定を失敗にする。残念だったね。シナリオ1回。基本侵蝕率+3							
命のカーテン	1	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	カバーリングは10m離れても有効。シナリオLv回							
美しき罪人	1							
効果:								
擬態の仮面	1							
効果:								
イージーフェイカー【元気の水】	1							
効果:	ほぼプレイ用							
効果:								
効果:								
効果:								

FH所属のチルドレン。いつからFHに居たのかすら定かではない、出生も謎に包まれている古参。 偽名は「芥川亜美」チルドレン同士の殺し合いに文字通り"生き抜いて"マスターの称号、そしてその名を得た。それ以降は主に足止め壁役を担当しており"吸血鬼"にふさわしい不死身さを魅せる。

普段は怠惰の化身といった具合の態度をとっており、様々なことに関してすばらで物や組織に対する思いも薄くてドライな性格にも見える。ただし自分の居所と定めたものに対しては強い執着を見せる。ウロボロスシンドロームなのだが、本人も周囲も「プラム=ストーカー」だと長い間誤認していた。

FHで行われた「FHチルドレン同士の殺し合い」...その中で一人生き延びた被検体。チルドレンたちが戦う中で取った行動は"静観"...ただ見ているだけ。そうしているうちにすべては終わった残されたのはただ一人、攻撃力を持たない...ただ生きること特化した女だけだった。

...砕けた肉体、居場所を失いこぼれだす鮮血を目の当たりにした彼女のレネゲイドウィルスはその全てを吸い付くして凝縮...一つにして自分の中に取り込み...そして"脱皮"していく。他から見れば吸血衝動にも見えるソレは、ただただ「この嫌悪を抱く実験の犠牲者の"居場所"くらいはなってる」...それだけ。外見がいくら変わろうとも、その血は流れ続ける。

こうして手に入れたのは不死身にも近い身体。生来の再生能力を活かせる器、同類達の屍の上に築いた濃縮体。死した者の血を糧とした吸血鬼は今日もどこかで"居場所"を求める。